



相ノ木っ子だよ



令和4年度
6月号
上市町立
相ノ木小学校

体を鍛えて粘り強い相ノ木っ子に

「校長先生、今日ナイスランナーに選ばれとったね」

業間活動「いきいきタイム」の月～木曜日、晴天時に子供たちは「さわやかランニング」を行っています。音楽（名探偵コナンのメインテーマ曲）が流れている3分間、下学年はグラウンドのトラックを、上学年はさらに一回り外を走っています。全力疾走に近い形で最初からどんどん飛ばして走る子、ゆっくりとしたリズムで淡々と走る子、風を受けながら気持ちよさそうに走る子、それぞれの走りがあり、一人一人自分に合ったペースで走り切ることを目当てに取り組んでいます。そして、どの子も少しでも距離を伸ばそうと、毎日こつこつと一生懸命走る姿があります。何と言っても子供たちの体力増強がねらいの活動ではありますが、日々継続しながら、努力を積み重ねていくことの大切さを実感してほしいですし、一人一人に根気強さ、粘り強さがしっかりと身に付いてほしいです。これまでずっと相ノ木っ子の様子を見てきましたが、粘り強さという点ではややあっさりしているように思います。自分の活動にあまり執着しないと言いますか、あきらめが早いと言いますか、友達への配慮というものもあるのかもしれませんが、もっとも自分のことに貪欲に取り組んでもよいように思う時があります。

発明家のトーマス・エジソンは、次のように言っています。

もちろん、生まれつきの能力の問題も全く無視はできない。

それでもやはり、これはおまけみたいなものだ。

絶え間なく、粘り強く努力する。

これこそ何よりも重要な資質であり、成功の要と言える。

また、ドイツの詩人・小説家のゲーテは、こう言っています。

立派な目標と偉大な仕事をやり遂げる道は二つしかない。

体力と忍耐力である。



どれだけ生まれもった資質や能力があつたとしても、努力を積み重ねなければ、大きな成功を生むことはできません。一流と言われる人たちは、粘り強さをもち続け、努力を重ねてきたからこそ、大きな結果を出すことができたはずですから。雨天時等1年中練習しているけん玉やなわとびへの取り組み、収穫や成長に向けしっかりと手をかけている野菜や植物の世話とともに、さわやかランニングへの地道な努力によって、しっかりと体力と忍耐力を付けた相ノ木っ子を目指していきたいです。きっと子供たちは、粘り強く取り組むことや努力を積み重ねることの大切さをしっかりと感じ、自己有用感を高めることができるでしょう。

また、体育委員の子は、全校のランニングの様子を見ながら、一生懸命取り組んでいると思った子をその日のナイスランナーとして昼の校内放送で発表しています。先生方も子供たちと一緒にさわやかランニングに取り組んでいるわけですが、わたしも体力増強というよりも、体力保持のために走っています。冒頭の言葉は、体育委員の子がわたしのランニングを「がんばっているな」と思ってくれたのでしょう、ナイスランナーに選んでくれました。放送後、何人もの子が同様の言葉をかけてくれました。こういった努力やがんばりを認め、紹介する活動は、他にもあります。あいさつ名人やベルマーク・プルタブを持ってきてくれた友達、放送室の折り紙の飾りを作ってくれた友達等、各委員会がどんどん紹介しています。互いにがんばっている姿を見合ったり、認め合ったりすることが、学校という場にあつてはとても大事なことですよね。そういった交流や気持ちの通じ合いが、それぞれの力をよりいっそう引き出してくれるのだと思います。これからも、お互いに粘り強い姿をどんどん見せ合い、よりよい姿を進んで紹介して認め合っていきたいものです。

相ノ木っ子のみんな、目指せ「粘り強さ名人」！



平等ではないが対等であること



5年生は、総合的な学習の時間に「あったかハート相ノ木」というテーマで、福祉について課題を持ち、調べたり解決したりしています。先月末に、社会福祉協議会の方と車椅子の福島さん、目の不自由な藤縄さんを学校に招き、障害者の方の話や気持ちを聞いたり、車椅子やアイマスクを使って疑似体験をしたりしました。もちろん体験を通して、障害があることのたいへんさを体感することができましたが、子供たちにとっては、何よりも障害者の方の前向きな生き方が一番の驚きだったようです。車椅子生活でありながらも全国を旅しておられること、目が不自由ながらも数多くのピアノの演奏会を開催されていること。最後に披露されたペアの演奏は、とても感動的でした。もちろん、障害によって、わたしたちには想像もできない悲しみや苦しみがあつたことでしょう。でも、それを乗り越え、今をしっかりと生きる姿に感動させられました。

病気の後遺症で下半身麻痺になりながらも、ユニバーサルマナー講師として活躍されている岸田ひろ実さんは、次のように言っています。

辛い時は、もうとことん辛い思いを自分で感じて、たくさん泣いて、
とことん落ち込むところまで落ち込むと、今度は「よし」と思える時がきっと来る。

子供たちは、「障害をもちたくないし、そうなることは想像もできない」と答えていましたが、障害を乗り越えてきた方々の生の姿や偽らざる気持ちを見聞きして、子供たちの目線や考え方がずいぶん変わったような気がします。認知症サポーター養成講座、こんにちは訪問、グループホーム逢の希訪問等、5年生はさらに体験を重ねていきます。障害者の方だけでなく、高齢者の方々との交流や触れ合いを通して、ますます自分の見方や考え方を広め、深めていってほしいですし、少しでも「福祉」とは何だろうという問いに迫って行ってほしいものです。

また、進行性筋ジストロフィーを発症しながらも、車椅子社長として、数多くの介護・医療のオリジナル商品開発・販売を行った故春山満氏は、次のように言っています。

自分と他人を比較するな。あくまでも自分は自分であり、他人は他人。
周りから、あーだこーだと言われても、
自分が強烈な憧れをもち素直に自分の信じる道を歩むべきだ。



ある身体障害者の方が、障害者と健常者の関係について「平等じゃないけど対等なんです」と表現していたそうです。できることとできないこと、平等ではないかもしれませんが、同じ人として対等な関係であるはず。福祉においては、この気持ちや意識がとても大事なのではないかと思います。そして、障害とか関係なく、全ての人々に言えることではないでしょうか。不平等なくらい一人一人違うけれども、みんな同じように大事な存在であるということ。そういった考え方、それに基づく人間関係をみんなで共有していけば、あらゆるいじめや差別をなくしていけるのではないのでしょうか。

相ノ木っ子のみんな、「平等ではないが対等である」そんな人のつながりを大切にしていきましょう。

行事予定(6月中旬～7月中旬)

6月16日(木)	認知症サポーター養成講座(5年)	7月1日(金)	2年ふるさと学習
23日(木)	宿泊学習1日目(5・6年)	4日(月)	こんにちは訪問(5年)
24日(金)	宿泊学習2日目(5・6年)	5日(火)	3年校外学習 (ますのすしミュージアム)
29日(水)	4年校外学習(クリーンセンター)		
30日(木)	池田模範堂出張授業(3年)	13日(水)	水泳学習((1・2年) 4年校外学習(TOYAMA キラリ)
		14日(木)	水泳学習(3・4年)
		15日(金)	水泳学習(5・6年)

